

# 前略私は忙しい!

とにかく私たちに**時間がない**。

それは仕事、ゲーム、戦闘、どのようなものでも良い。

時間がないから、普通の言葉遣いなんて冗長なものを使ってられない。

省略だ。短縮だ。略語だ。

## 〔アспект生成質問〕

- **理由**。私たちは悠長な会話をしていられないくらい、大事な“すべきこと”がある。
- **環境**。私たちの“すべきこと”に影響を及ぼす、私たちの集合場所の特徴とはなんでしょうか？
- [自由アспект]。好きに決めてください。

## 〔共同体への質問〕

- 私たちは何を使用し会話している？ 口頭による言葉か、あるいは文字によるコミュニケーションか。
- 入ってきやすい異国の言葉がある。それは何処？(※実在する言語を推奨。架空の言語でも構わないが、難易度は上がる)
- 私たちの“すべきこと”でミスがあった場合、誰がそのフォローをする？ また、誰が最も苦勞をしている？
- 私たちの中にその忙しさにうんざりしている人はいる？
- 私たちは全体的には何人くらいいて、普段はどんな暮らしをしている？

## 名前

なるはや、ASAP、とりま、エキチカ、オンスケ

特殊ルール:「略語」をテーマにしたバックドロップです。作る言葉は、音としても文字としても短い方がリアリティが上がるでしょう。

## 〔時代の移行〕

〔時代〕2へ移るにあたって〔展開〕を(黒い左欄か、赤い右欄か)選ぶ。以降は、選んだ方の〔展開〕が続く。

〔時代〕2へと移る。(アイソレーション)の終わりを予感させる出来事。

それはあらゆる会話の中に潜んでおり、無視などできない。

“すべきこと”をし続けたおかげで、少し余裕が出てきた。ただ最近は何れも入ってくるようになり、少し現場に混乱が見られる。この状況に、私たちはどのように反応する？

今までも忙しかったが、最近さらに忙しくなった。息継ぎする間もなく、このままだと人が何人か倒れるかもしれない。何か対策はあるだろうか？

〔時代〕3へと移る。予期されていたことが起きてしまう。

(アイソレーション)の終わりは近い。この定めからは逃れられない。

人がだんだん増えてきた。最近はかなり余裕が出てきたとはいえ、“すべきこと”を回すためには慣れた言葉——今まで使ってきた略語——の方が使いやすい。言葉遣いに厳しくなる人は私たちの中にいるだろうか？

1人、また1人と“すべきこと”を辞めていく。辞める人が増えるたびに、さらに忙しくなる。人手が足りない。私たちは彼らを引き止めるために何をやる？

〔遺されゆくもの〕へと移る。最後の瞬間、またはその結果。

いよいよゆっくりしながらでも“すべきこと”はできるようになった。もはや略語で喋る必要性はないだろうが、それでもこれらの言葉が私たちに残す影響はなんだろうか？ 新入りの言葉と混ざり変わる言葉はなんだろうか？

もうこれ以上は無理だ。手が回らない。“すべきこと”を続けていくことは不可能だ。同じことをしている別コミュニティに行くかもしれない、そのまま辞めるかもしれない。私たちはどうしよう？

アツメ

本文

鮎方高明

編集

アツメ

イラスト

このバックドロップは、ロールプレイング・ゲーム『ダイアレクト』(Thorny Games)のアクセサリです。  
『ダイアレクト』について興味がある方は、harrowhill.rdy.jpをご参照ください。

遊ぶにあたって、このバックドロップは自由にコピーしていただいて構いません。またクリエイティブ・コモンズ「表示-非営利-継承」ライセンス範囲内で自由にご利用いただけます。

<https://creativecommons.org/licenses/by-nc-sa/4.0/deed.ja>

This playset is copyright 2023 by Atsume, twitter id:2D6\_7. *Dialect* is copyright 2017 by Thorny Games, LLC. All rights are reserved. Japanese translation published by arrangement with Thorny Games Publication. © 2020 by Harrow Hill.



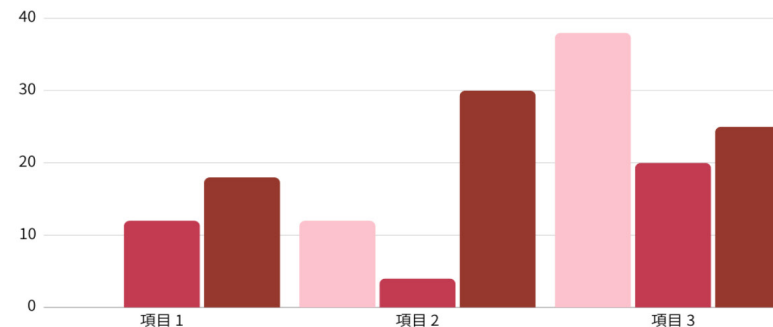
# 前略 私は忙しい！

「略語」をテーマにしたバックドロップです。

## 概要

とにかく私たちには時間がない。  
それは仕事、ゲーム、戦闘、どのようなものでも良い。  
時間がないから、普通の言葉遣いなんて冗長なものを使ってられない。

- ・省略だ！
- ・短縮だ！
- ・略語だ！



図のガイド：プレイ時間は短くなる傾向にあります

“忙しい人のための  
ダイアレクト  
バックドロップです。”

-アツメ